



七夕祭りの由来～内容と歴史

(たなばた) は (しちせき) と読み、五節句のひとつ



鈴木が調ぶたよ！

○五節句には他に端午（5月5日）、重陽（9月9日）などがある。

奈良時代に中国から伝来した行事であり、平安時代には宮中行事となった。

お供え物（桃、なす、うり、大豆、干鯛、アワビなど）を備えて、里芋の葉に溜まった夜露を天の川のしずくと考えてその水で墨を溶かし、和歌を書いた。

○織姫、彦星伝説～織女と牽牛＝織物と稲作を意味する。働くことの大切さを伝える伝説話。

○笹を飾る理由:笹には抗菌作用があると言われている。また、笹や竹には古来神霊が宿ると言われている。健康長寿の祈りを込めて願い事をする風習ができた。

七夕を、こども達とどのように楽しむか、考えてみた！

- ・天の川を飛び越えよう！・・・スズランテープで作った天の川を飛び越えて星型の画用紙に向かって走る
- ・七夕のお話を絵本にして読み聞かせる
- ・流しそうめんをする
- ・笹の枝の上に風船を乗せて運ぶリレー
- ・天の川に見立てたブルーシートを使い、シートの上に様々な色の星を見つける宝探しゲーム

